

①函館市臨海研究所
(沖之口役所跡)



旧函館西警察署庁舎を、水産・海洋関連産業の技術の高度化や水産振興に貢献する研究施設として再生。かつては、入港する船から税金を徴収する沖之口役所であったほか、函館水上警察署として海上を取り締まる役割を果たしていた。

②姿見坂(ペリー会見所跡)



幕末から明治初期には、坂の上に遊郭があり、艶やかな遊女の姿が見られたことからこの名がついた。また、江戸時代にはペリー一行と松前藩との会談が行われた山田屋寿兵衛宅があった。

③大黒湯(平成22年7月閉店)



現住所の旧町名・大黒町から名づけられた大黒湯は、明治末期創業の歴史ある銭湯で、北洋漁業やイカ釣り船の漁船員が列をなして通った時代もある。

④大黒魚菜市場



昭和36年(1961)創業の大黒魚菜市場は、商店が軒を連ねる大黒通りの一角にあり、かつては大黒廉売と呼ばれ規模も大きく大変な賑わいを見せた。現在の市場は、規模は小さくなったものの、昔ながらの人情味あふれる市場として多くの市民に親しまれている。

⑤大正湯



大正3年(1914)創業の大正湯は、左右対称で、淡いピンク色の外観が印象的。映画「パコダテ人」の主人公の家として登場しており、現在も営業中である。

⑥旧ロシア領事館



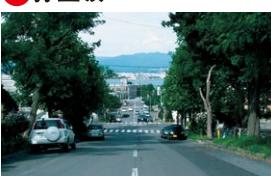
かつてのロシア領事館で、赤レンガの壁と白い漆喰の窓枠で縁取られたコントラストが印象的な建物。現在は外観見学のみとなっている。

⑦幸坂



長く急勾配なこの坂の頂上からは、函館港を一望できる。かつて海峡を行っていた青函連絡船が最後の航海を飾った際、この坂から見送る市民の姿が、全国に発信された。

⑧弥生坂



かつては淨玄寺(現東本願寺函館別院)、称名寺、実行寺などが立ち並んでいたことから「寺町の坂」と呼ばれていた。坂沿いにある弥生小学校は、石川啄木や龜井勝一郎など多くの文学者や芸術家とゆかりのある学校である。

てくてく坂道 姿見坂・弥生坂編 ~懐かしの時代へタイムスリップ~

所要時間 80分 距離 2.3km 消費カロリー 240kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。



撮影オススメ
ポイント!!

- ☕ 喫茶・休憩
- 🏮 おみやげ・売店
- 🍴 食事処
- 🚻 トイレ
- ♿ 多目的トイレ
- 🅿️ 駐車場
- 🚌 元町・ベイエリア周遊号バス停
- 🚍 バス停

寺社群(称名寺、実行寺
東本願寺船見支院)

外国人墓地
高龍寺

称名寺
実行寺
東本願寺
船見支院

山上大神宮
船見公園

函館の坂道

異国情緒漂う洋館や、教会、和洋折衷の建物とともに函館港から函館山に伸びている幾本もの坂道巡りは、西部地区散策の楽しみの一つです。函館の街は明治11年(1878)、12年(1879)の大火で、広範囲に焼失したため、街の復興にあたり坂道の直線化と、消火を助ける防火線として基坂・二十間坂のような幅広の坂道の整備をしました。なにげなくそこに併む西部地区的坂道は、度重なる大火に遭遇しながら、そのたびに復興し進化してきた函館の街の証の一つともいえます。

入舟町

函館どつく前

弁天町

明治34年に建築された2階建土蔵造りの店舗で、国の重要文化財に指定されています。

箱館丸
太刀川家
住宅・店舗
トイレ

スタート!
1. 函館市
臨海研究所
(沖之口役所跡)

大町
大町

中華会館
純中國様式の建築として日本に現存する唯一の貴重な建物です。

弥生小学校
中華会館
相馬株式会社
カフェ
ダイニング
JOE
トイレ

坂の上から港に向かっての写真が多い中、基坂は坂下から函館山に向かってのアングルがオススメです。

坂
P
元町公園
旧イギリス領事館
相馬邸
元町観光案内所
函館市写真歴史館

夏には階段を生かしたステージでイベントが催されます。

元町公園
旧相馬邸
日和坂

元町観光案内所
函館市写真歴史館